TADOKU JUNIOR 自然のふしぎ神話 ★★★☆☆ ふつう 430語

Philemon and Baucis

ピレモンとバウキス

Flora J. Cooke（1895年の本） 原文そのまま 朗読：Linette Geisel

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？ まずしいけれど心やさしいピレモンとバウキスのところに、くたくたにつかれたふたりの旅人がやって来ます。じつは……。

On a high hill in Greece, long ago, lived Philemon and Baucis. They had always been poor but never unhappy.

At the time of this story the people in the valley below them were very busy.

Zeus, their king, had sent word that he was about to visit them.

Hermes, his messenger, was to come with him.

The people were getting ready great feasts, and making everything beautiful for their coming. For miles out of the city, men were watching for the golden chariot and white horses of the king.

One night, just at dark, two beggars came into the valley.

They stopped at every house and asked for food and a place to sleep.

But the people were too busy or too tired to attend to their needs.

Footsore and weary, at last they climbed the hill to the hut of Philemon and Baucis.

These good people had eaten scarcely anything for several days that they might have food to offer the king.

When they saw the strangers, Philemon said, “Surely these men need food more than the king.”

Baucis spread her one white table cloth upon the table.

She brought out bacon and herbs, wild honey and milk.

She set these before the strangers with all the good dishes that she had.

Then a wonderful thing happened.

The dishes which the strangers touched turned to gold.

The milk in the pitcher became rich nectar.

Philemon and Baucis dropped upon their knees.

They knew that their guests could be no other than Zeus and Hermes.

Zeus raised his hand and said, “Arise, good people, ask what you will and it shall be yours.”

Philemon and Baucis cried in one voice:

“Grant, oh Zeus, that one of us may not outlive the other, but that both may die in the same instant.”

This had long been the wish in each heart, and the fear of being left alone in the world was the one trouble of their old age.

Zeus smiled and changed their rude hut into a beautiful castle, and granted them many years of happy life.

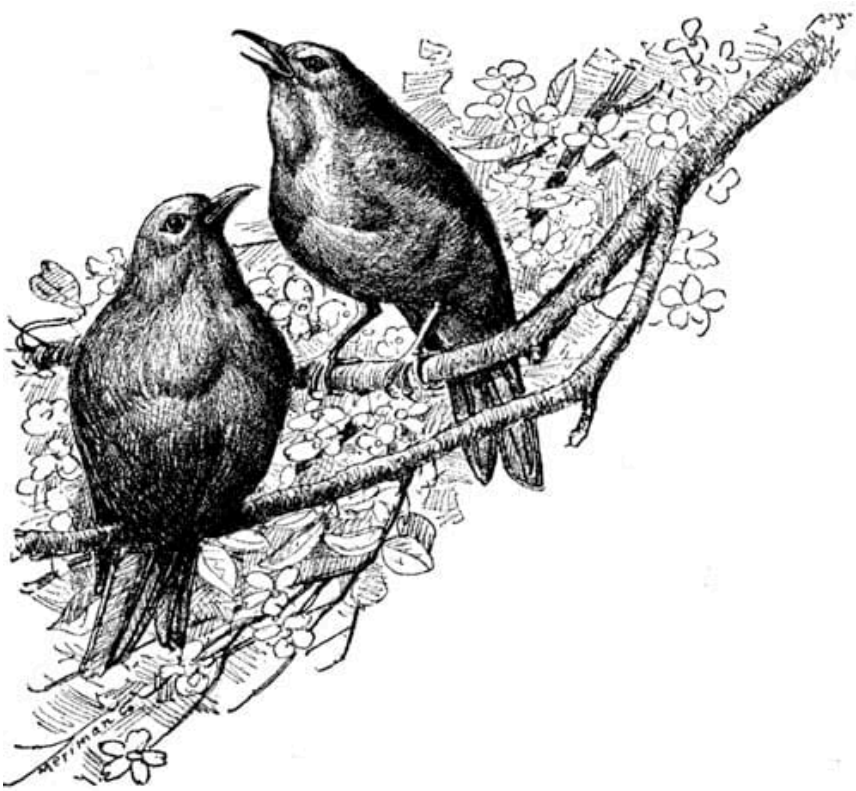
One morning the people in the valley noticed that the castle had disappeared.

They hurried to the spot and found growing in its place two beautiful trees, an oak and a linden.

No trace of the good couple could be found.

Many years after, however, a traveller lying under the trees heard them whispering to each other.

He lay very still and soon learned that in them Philemon and Baucis still lived, happy and contented, and protected by Zeus from all harm.



むかし、ギリシャの高いおかの上に、ピレモンとバウキスがすんでいました。ふたりはずっとまずしかったけれど、ふしあわせだったことはありませんでした。

このお話のころ、ふたりの下の谷にすむ人々は、とてもいそがしくしていました。

人々の王ゼウスが、もうすぐたずねていくと知らせてきたのです。

ゼウスのお使いのヘルメスも、いっしょに来ることになっていました。

人々は大ごちそうを用意し、ふたりをむかえるために、何もかも美しくかざっていました。町から何キロもはなれた所まで、男の人たちが王さまの金の車と白い馬が来るのを見はっていました。

あるばん、ちょうど暗くなったころ、ふたりの旅人が、物ごいをしながら谷へやって来ました。

ふたりは家という家に立ちよって、食べ物とねる所をたのみました。

けれども人々は、いそがしすぎたり、つかれすぎたりしていて、ふたりの世話をしてあげませんでした。

足がいたく、くたくたになって、とうとうふたりは、おかの上のピレモンとバウキスの小屋までのぼってきました。

このよいおじいさんとおばあさんは、王さまにさし上げる食べ物をとっておくために、何日もほとんど何も食べていませんでした。

旅人たちを見て、ピレモンは言いました。「きっとこの人たちのほうが、王さまより食べ物がいるだろう。」

バウキスは、たった一まいの白いテーブルかけをテーブルに広げました。

ベーコンと野草、野生のハチみつとミルクを出してきました。

バウキスは、持っているかぎりのよいお皿にのせて、それを旅人たちの前にならべました。

すると、ふしぎなことが起こりました。

旅人たちがさわったお皿が、金にかわったのです。

水さしの中のミルクは、こくのある神さまの飲み物になりました。

ピレモンとバウキスは、ひざをつきました。

お客さまはゼウスとヘルメスにちがいないとわかったのです。

ゼウスは手を上げて言いました。「立ちなさい、よい人たちよ。ねがいを言えば、何でもかなえてあげよう。」

ピレモンとバウキスは、声をそろえてさけびました。

「ああ、ゼウスさま、どちらかひとりがのこされることなく、ふたりが同じしゅんかんに死ねるようにしてください。」

これは、長いあいだふたりの心のねがいで、世界にひとりのこされるのがこわいことだけが、年をとったふたりのたった一つの心配だったのです。

ゼウスはほほえんで、そまつな小屋を美しいおしろにかえ、ふたりに長いしあわせなくらしをあたえました。

ある朝、谷の人々は、おしろが消えてしまったのに気がつきました。

急いでその場所へ行ってみると、おしろのあった所に、カシの木とシナノキという、二本の美しい木が生えていました。

よいおじいさんとおばあさんのすがたは、どこにもありませんでした。

けれども何年もたってから、その木の下で横になっていた旅人が、二本の木がささやき合うのを聞きました。

旅人がじっとしていると、まもなくわかりました。ピレモンとバウキスは今もその木の中に生きていて、しあわせにみちたりて、ゼウスにあらゆるわざわいから守られているのです。

たんご と クイズ　ピレモンとバウキス

hill おか	**hut** 小屋	**honey** ハチみつ
milk ミルク	**gold** 金	**castle** おしろ
oak カシ（オーク）の木	**linden** シナノキ（リンデン）	

Q1 谷の人々が旅人を世話しなかったのはなぜ？

① 旅人がこわかったから　② いそがしすぎたり、つかれすぎたりしていたから

③ 食べ物がなかったから

Q2 旅人がさわったお皿は、どうなった？

① 金になった　② われた　③ 花になった

Q3 おしろのあった所に生えていた木は？

① マツとヤナギ　② サクラとウメ　③ カシとシナノキ

こたえ

Q1 ② 人々は王さまをむかえるじゅんびで、いそがしすぎたり、つかれすぎたりしていたのです。

Q2 ① 旅人たちがさわったお皿は金にかわりました。旅人はゼウスとヘルメスだったのです。

Q3 ③ カシの木とシナノキの二本が生えていて、ピレモンとバウキスはその中で今も生きているのです。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #30800（Flora J. Cooke、1895年）。パブリックドメイン。
挿絵：(1895 edition)（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Linette Geisel（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。